

● 7月15日(木) 晴 恵山

道の駅「YOU・遊・もり」泊

・朝5時半起床。あたりは霧がかかっているが雨は止んでいるようだ。隣に泊った和泉ナンバーの車のおじさんがワンちゃんを連れて散歩に出て行った。奥さんは朝食の準備をしている。私は昨夜残した納豆巻と味噌汁で朝食を済ませた。昨日和泉のおじさんとの話で「恵山に登って来た。トンボソウが咲いていた」と言っていた。恵山に登ってトンボソウを見てこようと思った。



道の駅「なとわえさん」の朝



駐車場には私の車だけ

・7時過ぎに和泉のご夫婦に挨拶して恵山に向けて出発した。ただ私は恵山に関する本も資料も何も持っていないので、どこからどう登るのか全然わからない。



「恵山管理道」という標識が立っていた

・恵山は観光地として有名だから、とりあえず恵山公園へ行けばなんとかなるだろうと考え恵山公園を目指した。舗装道路の急坂を300mも登って霧の恵山公園に着いたが、朝早いせいか車は一台もないし、恵山とおぼしき山は霧の中で全くわからない。回りを探しても登山口の標識はどこにも無い。遊歩道みたいな小道に「恵山管理道」という標識が立っていたので、とにかくその小道を登っていった。

しばらく行くと右に入る道が分かれ「恵山山頂へ」という標識が立っていた。やれやれ助かった！



「恵山山頂へ」という標識が立っていた



下の方に恵山公園が広がる

・山頂は霧の中で見えないが、活火山だから溶岩と硫黄だらけの山で、花なんか何も無く溶岩の豪快な山肌が続いてなかなか面白い。予想通りハイキングコースとしてしっかりした道がついているので、霧の中でも迷うことは無かった。途中時々霧が晴れて雲間から眼下に海岸線が望まれなかなかの絶景だ。



眼下に海岸線が



山頂からの遠望と恵山神社



・1時間ちょっとで山頂に立ったが、なんと山頂は雲の上、真夏の太陽が降り注いでいた。下の方は雲に覆われ見えないが、周りを見ると雲の上に頭を出した山々が遠望できる。ただ何の山だか全然分からない。

今日も山頂を独り占め、登山客は誰もいない。山頂の神社「恵山大権現」にお礼の挨拶をした。



・山頂付近のツガザクラの群生の中にトンボソウが咲いているのを見つけた。それも2株だけしか見つけられなかった。偶然と言うかラッキーなことに、写真に収めることが出来た。

・私の下りは早い、50分くらいで駐車場まで下ってしまった。途中10人くらいの中年パーティーが登ってくるのとは違った。霧の中だったので「たぶん山頂は雲の上で、晴れていますよ」と言ったら大喜びで登っていった。

駐車場は今朝にも増して霧が深く、周りが全く見えない状態なので草々に引き上げた。

山頂は晴れていたし、トンボソウには会えたし、大変良い山だった。



ツガザクラの中にトンボソウが咲いていた

・恵山・内浦ライン(278号線)を砂原へ向けて北上した。今日は砂原あたりに泊まろうか。北へ向かうにしたがって天気が良くなり砂原近くではすっかり晴れていた。道の駅「つどーるプラザさわら」に来たが、車は少ないし物寂しげな駅なのでちょっと泊る気が起きない。まだ時間も早いので隣の森町まで行くことにした。森町は結構大きな町で、公園もあり大型店もあり道の駅「YOU・遊・もり」は大きい賑わっている。今夜はここに泊ろう。そうすると風呂だがここには風呂が無い。駅で聞いてみると10kmくらい南に「チャプ林」という日帰り温泉があるという。

・早速国道5号線を大沼方面に南下、10kmほど走って保養基地入口を左折し保養基地の日帰り温泉「チャプ林」に着いた。活火山の駒ヶ岳の山麓だから当然温泉はあるよね。

なかなか大きくて賑わっている。タオルも石鹸もシャンプーも付いていないが、400円と安いし、きれいで大きくて露天風呂も完備していてめちゃいい風呂だった。風呂から出てもまだ陽は高く日差しが強いし、かなり暑い。途中セイコーマートで夕食を調達、スーパーによって冷えたビールを買い込んで駅へ戻った。



岐阜のおやじと並んで泊った

・なんと島牧と一緒に泊った「岐阜 403 ほ 8888」の

おやじがやってきたではないか！ 呼び止め、私の横に並んで駐車した。今買ってきた冷えたビールを1本サービスしてやった。今日の夜食は豚肉と野菜の炒め物、それに昨日和泉のご夫婦にいただいた、あいなめの煮付けという豪華版。ビールも進む。主食にラーメンをと考えたがカロリー取りすぎになりそうなので納豆まきを少し食べて終わりにした。

・天気はまた曇ってきて今ひとつはつきりしない。ここはEメールが繋がったので、コーヒーを飲みながらパソコンとEメールをして食後の休養。今はまだ6時前。満足の日だった。

● 7月16日(金)

晴

移動

道の駅「だて歴史の杜」泊

・昨夜は大型トレーラーが一晩中エンジンを吹かしてうるさかった。

あさ5時起床。雨は降っていないがなんとなく曇っていて、天気は良くなさそう。隣の岐阜のおやじはもう起きて朝食の準備をしている。テレビで関西は大雨が続いていて岐阜では水害が出ていると言っている。「おじさんとこ水害は大丈夫?」「水害は可児市で起きている。うちは大垣だから大丈夫」だと。昨夜の残りの豚肉ソテーに味噌汁を加えて味噌スープを作り納豆巻きで朝食をすませた。今日は伊達あたりまで行って泊ろうか、一昨年寄ったが印象の良い町だった。急ぐ旅ではないので、パソコンやメールで朝のひとときをのんびりと過ごし、8時過ぎに出発した。

・噴火湾に沿って走る国道5号線を60~70km/hでのんびりと北上、国道というのに車は殆ど走っていない。出るとき小雨だったがだんだん天気が良くなり陽も差してきた。八雲町でガソリンを補給し、蟹の町長万部を通過、静狩峠へ。ここは数日前、黒松内方面へ向かって分かれたところだ。豊浦へ入ると「噴火湾展望公園」という看板があったので、ちょっと寄ってみた。高台にあるため、たしかに展望は良い。豊浦の町は一望できたが、噴火湾はガスっぽくて遠望がきかなかった。豊浦・虻田を通して活気溢れる大きな街、伊達市に12時前に付いた。



噴火湾展望公園からの眺め



道の駅の裏手にある芝生公園

北海道の湘南といわれているとおり、太陽が眩しい。駐車場は車で満杯、大勢の人が集まり、小学生の団体を乗せたバスが何台も来ていた。

・道の駅の裏手の公園のベンチに座って昼食をとり、散歩がてら公園と三戸部屋住宅跡などをふらふらと見て回った。かなり賑やかな市街に出てコンビニとスーパーで買い物などして過ごした。駅に戻ると例の岐阜のおやじが来ていて驚かされたが、しばらくして「まだ早いので室蘭方面へ行く」といって出て行った。



道の駅「だて歴史の杜」

私はこれから西の千歳方面へ向かうので、南へ向かった岐阜のおやじとはもう会うことも無いなどと思った。思い起こせば島牧からここ伊達まで同じ道を走ってきた懐かしいおやじさんだった。

・今日はもうやることも無いので、4時前から飲み始めもうビール2缶空いてしまった。3缶目に入るか、つまみは愛用の松前漬けと焼き鳥、ごぼうサラダと露の煮付け。5時を回って昼間の喧騒も収まり、まわりもだんだん落ち着いてきた。そろそろ夜食のメインディッシュにとりかかるか。今夜もラーメンだな。